

# VITAGORAと連携した、輸出強化事業への参加事業者を募集します。

## 農林水産省補助 地域の加工食品の国際競争力強化支援事業

### 事業名：「フランス人の食嗜好を反映した九州の加工食品輸出強化事業」

食品の効率的な輸出を考える上で最も重要な要素は、輸出相手国の食嗜好やニーズをしっかりと把握し、戦略的に輸出製品を仕上げ、的確に事業者や消費者へ届ける「マーケットイン」を実現しなければならないと考えています。

特に嗜好や味覚についての客観的な把握は、日本食品の未知の可能性の発見につながり、新たな輸出機会の創出が期待できます。

今年度、農林水産省「農林水産物・食品の輸出促進対策」の補助事業により、米粉、茶、味噌、醤油、発酵食品、海苔の各品目に該当し、フランスへの輸出を強く希望される会員企業の商品について、下記の4つの取り組みを計画致しました。

現地調査の費用等は、会員企業様のご負担はありませんが、**応募多数の場合は、書類審査によって選抜させていただく場合があります。**もし選に漏れた場合も、品目ごとに共通する有益な情報などは、勉強会で共有させていただきます。また、調査費以外に、サンプル代、運賃などをご負担いただく場合がありますので、その点をご了承の上で、参加申し込みをお待ちいたしております。

#### 展開する4つの取り組み

##### 1. ニーズ把握（協力機関：VITAGORA）

フランスに輸出希望商品を送り、消費者、シェフ、パティシエと言った現地の方々の嗜好調査を実施し、輸出上の課題を明らかにします。

##### 2. ニーズに基づく輸出商品開発（協力機関：公設試・民間・NARO）

ニーズ把握事業で得られた結果元に、事業者と共に商品改良等を行い、輸出戦略商品としての商品力向上を行います。

##### 3. PRサイト作成（KBCC事務局）

フランスでのニーズ調査を踏まえ、現地のプロ、消費者に響くPRポイントを明らかにした上で、商品の魅力をPRするWEBサイトを構築します。

##### 4. フランス市場の開拓（協力機関：NARO・VITAGORA）

フランスの新規市場を開拓するため、取引確度の高い商流、キーカンパニー探索やテスト販売、商談会などを実施します。

- ◆お申込み : KBCCのホームページからお申し込みください。
- ◆応募条件 : **KBCC会員に限定**させていただきます（新規入会も可能です）
- ◆募集予定商品数 : 各品目ごとに5品目程度
- ◆募集期間 : 6月4日(金)～6月18日(金)
- ◆選抜審査 : 応募商品が多数の場合、輸出に対する**熱意、計画性等**を審査させていただきます。

申請書ダウンロード  
ホームページ  
<http://kyushu-bio.jp/>



#### スケジュール（実施期間：2021年6月～2022年3月）

- 6月4～18日 : 参加希望会員募集
- 7月上旬 : 品目決定（KBCC事務局、VITAGORA、NARO協議）
- 7月中～下旬 : VITAGORA調査スケジュール作成
- 9月～11月 : ニーズ把握調査開始
- 10月～ : PRサイト作成開始（2022年1月完成予定）
- 10月～ : 輸出商品開発
- 2022年1月～ : 情報発信、市場開拓開始

新型コロナの影響で  
若干変更する場合がございます。

お問い合わせ

公益財団法人くまもと産業支援財団 産学連携推進室  
（九州地域バイオクラスター推進協議会（KBCC）事務局）

TEL 096-289-3116 FAX 096-286-3929

メールでのお申込は [kyushu-bio@kmt-ti.or.jp](mailto:kyushu-bio@kmt-ti.or.jp)

# 事業スキーム

米粉、茶、味噌、醤油、発酵食品、海苔の各品目に該当する会員企業商品を対象とした調査を実施。

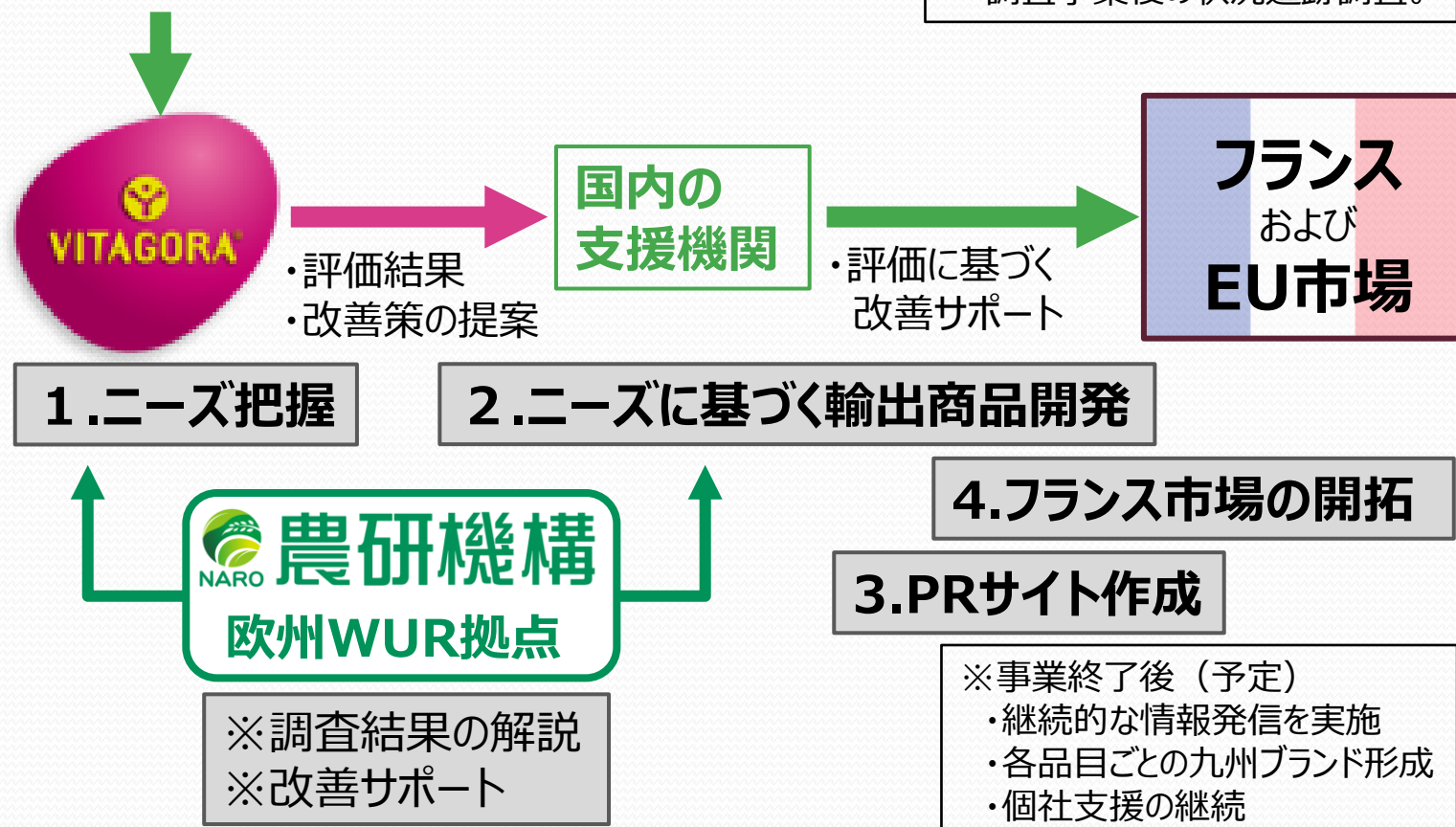
**KBCC  
団体会員企業  
【輸出希望の事業者】**

- ①募集、選抜
- ②調査計画作成
- ③関係機関の調整

申請のあった商品が多数の場合、各品目ごとに代表商品を選抜

- ・現状商品の評価が知りたい。
- ・改良するポイントを掴みたい。
- ・どのようなアピールが効果的か知りたい。
- ・新しい用途を知りたい。
- ・パートナー企業を探したい。などの課題

- ※メリット
- ・対仏調査費用の負担はゼロ。
  - ・改善の費用も負担はほぼゼロ。
- ※デメリット
- ・サンプル代、運賃等是一部必要。
  - ・調査事業後の状況追跡調査。



本事業が好評であれば、さらに品目を増やすなどで、翌年も継続申請を検討いたします。また、その場合、現地展示会（SIAL）等への団体出展を検討致します。

本事業は、日仏双方で、産地・製品・生産者の魅力を的確に伝えあうことで、物流と人的交流を活性化して行くことを最終的な目標としています。その過程で、嗜好や技術、商品デザイン、デジタル技術等の様々な情報に触れることで、会員企業の皆様の事業運営の一助になる事を願っております。

加工食品輸出強化事業 事業統括 瀧脇 拓之  
（（公財）くもと産業支援財団 事務局長）